

平成 24 年度

教育委員会の活動状況等に
関する点検・評価報告書

平成25年9月

黒松内町教育委員会

目 次

はじめに

I 点検及び評価の趣旨	1
II 点検及び評価の概要	2
III 点検及び評価に関する実施方針	5

第1章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議の開催・審議状況	8
2 規則・要綱等の改正及び制定	10
3 教育委員の活動状況	11
4 教育功労者等の表彰	12

第2章 平成24年度事務・事業の点検及び評価

1 「生きる力」を育む学校教育の推進	
(1) 未来を拓く「確かな学力」の向上	
① 全国学力・学習状況調査	15
② 学力向上支援講師派遣事業	16
③ 特別支援教育支援員派遣事業	17
④ 特別支援教育補助員派遣事業	18
⑤ 国際交流協力員活動事業	19
⑥ 総合的な学習推進事業	20
(2) 豊かな心と態度、健やかな体の育成	
① 食育振興事業	21
(3) 特色ある学校づくりの推進	
① 小規模学校教育力調査研究事業	22
② 山村留学事業	23
③ 世界文化遺産・西予市交流体験学習事業	24
(4) 教職員の資質能力の向上	
① 教職員の資質能力の向上事業	25

(5) 安全・安心で豊かな学びが広がる学校づくり	
① 学校施設整備事業	26
② 黒松内小学校エコ改修事業	27
③ 学校給食センター施設等整備事業	28
(6) 信頼される学校づくり	
① 学校関係者評価事業	29
2 豊かで活力ある地域づくりを目指す生涯学習の推進	
(1) 活力ある地域づくりの推進	
① 地域コミュニティー振興事業	30
(2) 家庭や地域の教育力向上と支援	
① 家庭教育への支援事業	31
② 地域教育力の活性化事業	32
③ 青少年教育の充実事業	33
(3) 読書活動の推進	
① ふれあいの森情報館活動事業	34
(4) 地域文化の保存・活用	
① 文化・芸術活動の推進事業	35
② 文化財の保存、活用事業	36
(5) 生涯スポーツの振興と健康づくり	
① 生涯スポーツの推進事業	37
3 全体評価	38

参考資料

1 教育委員会組織機構図	42
2 教育関係予算の状況	43
3 学校の児童生徒・教職員数	44
4 各施設利用者数	
(1) 総合町民センター	45
(2) ふれあいの森情報館	45
(3) ミニビジターセンター	45
(4) 各運動施設	46

は じ め に

I 点検及び評価の趣旨

昨今の地方教育行政を取り巻く状況は、教育基本法の改正に始まり、学習指導要領の改正、教育における地方分権の推進、そして教育委員会の責任体制の明確化など、大きく変化しようとしています。

町教育委員会では、教育基本法の趣旨を踏まえ、「生きる力」の基礎となる「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和の取れた教育、及び「ふれあい、学びあい、支えあい」の多様な生涯学習活動を学校・家庭・地域の緊密な連携を大切にしながら、具体的な施策・事業を町の第3次総合計画に位置づけ取り組んでいるところです。

こうした中、平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部が改正され、平成20年4月から施行、すべての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

そのため、本町としても、同法第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様に対する説明責任を果たすため、平成20年度から「教育委員会の活動状況等に関する点検・評価」を実施し、報告書にとりまとめ公表しております。

今年度の点検・評価は、「平成24年度教育行政執行方針」に掲げた主要な事務・事業について、PDCA（計画・実施・点検・改善）サイクルの理念に基づき検証いたしました。

今後も、この点検・評価による事業効果等の検証を行うことで、課題や対応方向を明らかにするなど継続的な業務の改善を図りながら、効果的な教育行政の推進に努めてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成25年9月

黒松内町教育委員会

Ⅱ 点検及び評価の概要

1 実施の目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。

その特性は、専門的な行政官で構成される事務局を多様な属性を持った複数の委員による合議により、専門家の判断のみによらない、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現するものです。

事務・事業の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第27条の規定に基づき、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすことを主な目的とするものです。

2 点検及び評価の対象

本年度の点検及び評価の対象事業等は、これまでの考えに基づき、平成24年度分の事業実績としました。

その対象範囲は、学校での学習指導・生徒指導に関することや社会教育に関することなど地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、町長の補助執行として行っている事務を含む、町教育委員会が所管するすべての事務としています。

事業のまとめ方については、「平成24年度教育行政執行方針」に基づき、町教育委員会が実施した主な施策・事業等を網羅する形で対象事業を選定しました。

3 点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、施策・事業の進捗状況を明らかにするとともに、課題等を分析し、今後の方向性を示しています。

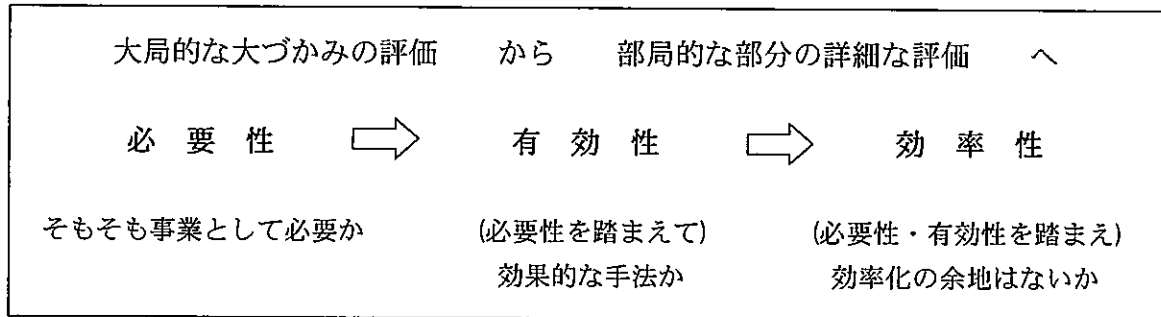
点検及び評価は、各事務事業の概要、点検による成果・課題等を基に、「必要性」、「有効性」及び「効率性」といった分析評価により事務事業の評価を行いました。

次に、その結果を踏まえ、「事業の規模」及び「手法の改善」という2つの観点から、当該事務事業の「今後の取組方向」を判断しました。

なお、「事業の評価」と「今後の方向性」の2段階に分けることにより、「大局から部局へ」、「現在の評価から今後の方向性へ」と、点検及び評価の論理的な流れを分かりやすくしています。

(1) 評価項目について

評価項目	検討の対象	検討の観点
必要性	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町民のニーズや社会情勢に適合しているか ・町が事業を行う必要があるか（民間、国・道等が実施すべき事業ではないか）
有効性	事業の目的と手法（事業内容）の関係（手法選択の理念）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的に照らして効果的な手法か ・成果は、十分に上がっているか（事業目的に照らして効果的な手法であれば成果は上がるはずであり、効果的な手法か否かの客観性を確保するためには、成果を踏まえる必要がある）
効率性	事業のコスト及びコストと成果の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費削減の取り組みは十分か ・人件費削減の取り組み（委託・IT化等を含む）は十分か



(2) 評価基準について

評価項目それぞれについて、「高い」、「やや高い」、「やや低い」、「低い」の4段階で評価することとしています。

この4段階の基準については、(1)に示した「検討の観点」（各項目2つずつ）を踏まえ、概ね次のとおりとしました。

評価の段階	概ねの基準
高い	両方の検討の観点について優れている
やや高い	どちらかの検討の観点について優れている
やや低い	どちらかの検討の観点について劣っている
低い	両方の検討の観点について劣っている

(3) 「事業の評価」と「今後の方向性」との関連について

「事業の評価」を踏まえた「今後の方向性」については、予算等の投入したコスト等の物理的規模について判断する「事業規模」の項目と、手法のあり方について判断する「手法の改善」の項目に分割し、それぞれ4段階で判断しました。

「事業規模」、「手法の改善」の各判断項目と、「事業の評価」と各項目との関連及び判断基準については、概ね次のとおりとしました。

判断項目	「事業の評価」の 各項目との関連	判断の段階	概ねの基準
事業規模	主に 必要性・有効性 が関連	拡 充	必要性・有効性とも高い事業であり、今後、規模を拡充し重点的に取り組むべきである。
		維 持	必要性がやや高く、有効性も低くない事業で有り、現在の規模を維持するべきである。
		縮 小	必要性が比較的低い、又は有効性が低い事業であり、規模を縮小すべきである。
		休 廃 止	必要性が低い、又は必要性がやや低く、有効性が低い事業であり、休廃止すべきである。
手法の改善	主に 有効性・効率性 が関連	維 持	有効性・効率性とも高い事業であり、現在の手法を維持すべきである。
		軽微な改善	有効性がやや高く、効率性も低くない事業であり、概ね現在の手法で問題はないが、軽微な改善を行うべきである。
		抜本的改善	有効性がやや低い、又は効率性が低い事業であり、手法の抜本的な改善を行うべきである。
		休 廃 止	有効性が低い、又は有効性がやや低く、効率性が低い事業であり、休廃止すべきである。

Ⅲ 点検及び評価に関する実施方針

教育関係事務・事業の点検及び評価に関する実施方針

平成21年4月23日教育委員会決定

1 趣旨

黒松内町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則（平成21年教育委員会規則第4号）第4条の規定に基づき、この実施方針を定める。

2 基本的な方針

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）が改正され、教育委員会が所管している事務の執行状況等について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することとされた。

そこで、当教育委員会としては、P・D・C・Aサイクル（*）の手法を用いた事務の点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性などを明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資する。

3 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する現状と課題
- (2) 教育行政執行方針に掲げる各種施策の実施及び達成の状況
- (3) その他点検及び評価を行うことが必要と認められる事務の実施及び達成の状況

4 点検及び評価の時期

点検及び評価は、毎年、前年度に実施した施策の達成状況等を分析するものとする。

5 点検及び評価の実施方法

- (1) 教育行政執行方針に掲げる各種施策及び主要な事業について、点検・評価調書（別記様式1）を作成する。
- (2) 教育長は、担当者が作成した点検・評価調書を基に、点検及び評価に関する報告書をまとめ、教育委員会の会議に付する。
- (3) 点検及び評価の結果については、重点施策の展開、予算編成、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政のあらゆる分野に反映させるものとする。
- (4) 点検及び評価を行うに当たっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験を有する者の意見を聞くことができるものとする。

6 点検及び評価に関する情報の公表

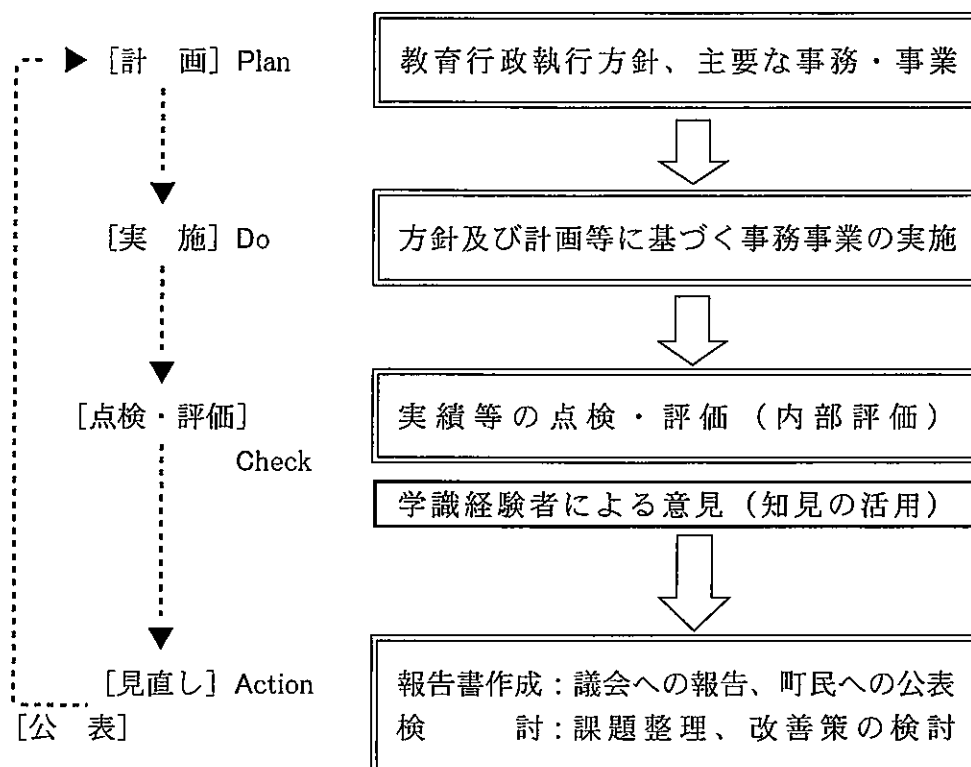
点検及び評価結果に関する情報については、議会への報告（6月又は9月）のほか、町民が容易に入手できる方法で公表するものとする。

* P・D・C・A サイクルとは？

Plan（計画）、Do（実施、実行）、Check（点検、評価）、Action（改善）の4段階のプロセスを順に実施する。

最後のActionを次のPlanに結びつけつつ、このプロセスを繰り返し実施することで、継続的な業務改善を推進していくためのマネジメント手法のことをいう。

* 点検・評価の流れ



点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)				項目番号	
事業費		千円	担当		
事務事業の概要	目的				
	実績				

点 検 ・ 評 価	成 果					
	課 題 (問 題)					
	評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 維 持	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維 持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)				

そ の 他	
-------	--

第1章 教育委員会の活動状況

第1章のポイント

教育委員会の会議の開催や審議内容、規則・要綱の制定や改正の状況、教育委員会が行った主な活動状況、教育関係者等に対する表彰などを整理しています。

1 教育委員会の会議の開催・審議状況

黒松内町教育委員会の会議は、黒松内町教育委員会会議規則（昭和31年教育委員会規則第1号）第4条の規定に基づき招集し、開催しています。

この会議において、5名の黒松内町教育委員会教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則・要綱など、様々な議題について審議をしています。

開催期日	付議案件等
24. 4. 20 (平成24年第4回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度黒松内町立小中学校の主任等の命課について (議案) <ul style="list-style-type: none"> 黒松内町文化財保護委員の委嘱について 黒松内町合同学校関係者評価委員の委嘱について
24. 6. 13 (平成24年第5回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度要保護・準要保護世帯の認定について 平成24年度黒松内町一般会計補正予算（第1回）について 修学旅行の引率等に従事する黒松内町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の制定について 教職員が部活動に係る大会等の業務に従事する場合の服務上の取扱要領の制定について (議案) <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度黒松内町教育委員会の活動状況等に関する点検・評価について 平成24年度黒松内町一般会計補正予算（第2回）について 黒松内町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
24. 8. 21 (平成24年第6回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> 市町村立学校職員の平成24年6月期における勤勉手当の成績区分の内申について 教職員の病気休暇の承認について 教職員の退職発令について 教職員の採用発令について 平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要について 平成24年度黒松内町一般会計補正予算（第4回）について 平成24年度黒松内町一般会計補正予算（第5回）について 工事請負契約について (議案) <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について
24. 9. 24 (平成24年第7回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度黒松内町一般会計補正予算（第6回）について 黒松内町スポーツ振興条例の全部改正について 黒松内町体育指導委員設置条例の一部を改正する条例の制定について 報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について (議案) <ul style="list-style-type: none"> 黒松内町教育委員会教育委員の任命について 平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

開催期日	付 議 案 件 等
24. 10. 1 (平成24年第8回)	(報告) ・黒松内町教育委員会事務局職員の退職について (議案) ・黒松内町教育委員会教育委員長の選挙について ・黒松内町教育委員会教育委員長職務代理者の指定について ・黒松内町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について ・教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部を改正する規則の制定について
24. 10. 23 (平成24年第9回)	(報告) ・平成24年度要保護・準要保護世帯の認定について ・平成24年度黒松内町一般会計補正予算(第7回)について (議案) ・黒松内町教育委員会教育委員の辞職について
25. 2. 20 (平成25年第1回)	(報告) ・市町村立学校職員の平成24年12月期における勤勉手当の成績区分の内申について ・平成24年度黒松内町一般会計補正予算(第8回)について ・平成24年度黒松内町一般会計補正予算(第9回)について ・教職員の病気休暇等の承認について (議案) ・学校職員の処分内申について ・黒松内町立学校就学指定校の変更許可について (協議) ・平成24年度黒松内町立小中学校の卒業式について
25. 3. 6 (平成25年第2回)	(議案) ・平成24年度黒松内町一般会計補正予算(第11回)について ・平成25年度教育行政執行方針について ・平成25年度黒松内町一般会計教育関係予算について ・平成25年度黒松内町立小中学校校長の人事異動について
25. 3. 28 (平成25年第3回)	(報告) ・黒松内町教育委員会教育委員の任命について ・平成24年度黒松内町一般会計補正予算(第12回)について ・平成25年度黒松内町立小中学校教職員の人事異動について ・教職員の産前休暇の承認について ・平成25年度教職員の採用について ・学校職員の懲戒処分について ・学校職員の訓戒について ・学校職員に対する「服務上の指導」の実施について (議案) ・黒松内町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について ・黒松内町教育委員会教育長の選出について ・黒松内町生涯学習委員の委嘱について ・黒松内町スポーツ推進委員の委嘱について ・黒松内町教育委員会事務局職員の人事異動について (協議) ・平成25年度黒松内町立小中学校の入学式について

2 規則・要綱等の改正及び制定

平成24年度中に制定された教育委員会規則の件数は4件となっています。

(1) 教育委員会規則

番 号	題 名	公布年月日	施行年月日
(24年) 第 1 号	・黒松内町立学校管理規則の一部を改正する規則	H24. 6.20	H24. 6.20
第 2 号	・黒松内町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H24.10. 9	H24.10. 9
第 3 号	・教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部を改正する規則	H24.10. 9	H24.10. 9
(25年) 第 1 号	・黒松内町立学校管理規則の一部を改正する規則	H25. 4. 1	H25. 4. 1

3 教育委員の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、町立小中学校の入学式・卒業式への出席、教育委員研修会への参加などの活動をしています。

【主な活動状況】

日 付	活 動 内 容	委 員 名
4月 3日 (火)	平成24年度教職員辞令交付式	井澤委員長・三浦委員 鈴木委員・小林委員
4月 6日 (金)	黒松内小学校入学式	井澤委員長・小林委員
	白井川小学校入学式	三浦委員
	黒松内中学校入学式	井澤委員長・小林委員 鈴木委員
4月 9日 (月)	白井川中学校入学式	三浦委員・小林委員 鈴木委員
5月21日 (月)	後志町村教育委員会協議会総会	井澤委員長
6月 1日 (金)	黒松内中学校陸上競技大会	小林委員
6月 2日 (土)	黒松内小学校運動会	小林委員
6月 3日 (日)	白井川小学校・白井川中学校合同運動会	三浦委員
6月14日 (木) ～20日 (水)	平成24年黒松内町議会第2回定例会	井澤委員長
7月 2日 (月)	教育委員会学校訪問	井澤委員長・三浦委員 鈴木委員・小林委員
7月11日 (水)	北海道市町村教育委員研修会	井澤委員長・小林委員
7月18日 (水)	黒松内町戦没者追悼式	三浦委員
8月11日 (土)	黒松内町成人式	井澤委員長・三浦委員 鈴木委員・小林委員
8月20日 (月)	後志町村教育委員会協議会役員会	井澤委員長
9月10日 (月) ～14日 (金)	平成24年黒松内町議会第3回定例会	井澤委員長
10月30日 (火)	後志町村教育委員会教育委員研修会	井澤委員長・小林委員
11月 2日 (金)	平成24年度黒松内町表彰式	井澤委員長
11月28日 (水) ～29日 (木)	平成23年度決算特別委員会	井澤委員長

日 付	活 動 内 容	委 員 名
12月10日(月) ～14日(金)	平成24年黒松内町議会第4回定例会	井澤委員長
2月12日(火)	市町村教育委員会新任委員研修会	成田委員
3月11日(月) ～21日(木)	平成25年黒松内町議会第1回定例会	井澤委員長
3月15日(金)	黒松内中学校卒業式	井澤委員長・小林委員 成田委員
	白井川中学校卒業式	鈴木委員
3月19日(火)	黒松内小学校卒業式	井澤委員長・小林委員 鈴木委員・成田委員
3月22日(金)	白井川小学校卒業式	三浦委員・小林委員 成田委員

注1：上記のほか、各小中学校の学芸会や学校祭、授業参観へも出席。
 2：教育委員会会議を除く。
 3：教育長を除く。

4 教育功労者等の表彰

教育委員会では、黒松内町教育功労者表彰規則（平成2年教育委員会規則第3号）を制定し、本町の教育、文化、スポーツ等に顕著な功績があった個人又は団体を表彰しています。

なお、平成24年度の教育功労者表彰者は、該当ありませんでした。

【黒松内町教育功労者表彰規則抜粋】

(表彰)

第2条 表彰は、次の各号に該当すると認められる個人又は団体をこの規則に定めるところにより表彰する。

- (1) 町の教育、文化、スポーツ等の振興に貢献した者
- (2) 町の教育機関に多額の金品を寄贈した者
- (3) 第1号に係る団体の長として連続10年以上その職にあった者

黒松内町教育功勞者表彰一覽

NO.1

【平成 3 年度被表彰者】			【平成 1 5 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
谷 口 英 夫	黒小教諭	第 2 条第 1 項	二階堂 則 雄	黒中校長	第 2 条第 1 項
【平成 5 年度被表彰者】			【平成 1 6 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
高 橋 恭 雄	無 職	第 2 条第 2 項	横 澤 善 秋	中小中校長	第 2 条第 1 項
荻 野 正	黒中教諭	第 2 条第 1 項	西 嶋 俊 朗	白中校長	第 2 条第 1 項
石 村 賢 三	黒小教諭	第 2 条第 1 項	伊 藤 篤	団体職員	第 2 条第 1 項
			佐 藤 晴 美	団体職員	第 2 条第 1 項
【平成 6 年度被表彰者】			【平成 1 7 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
奈 良 正 幸	公務員	第 2 条第 1 項	太 田 茂	黒小校長	第 2 条第 1 項
【平成 9 年度被表彰者】			【平成 1 8 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
中 村 勝 美	熱小校長	第 2 条第 1 項	故 長谷川幸男	白小教諭	第 2 条第 1 項
			山 本 光 廣	白小校長	第 2 条第 1 項
【平成 1 0 年度被表彰者】			【平成 1 9 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
坂 井 弘 治	黒中校長	第 2 条第 1 項	榎 井 孝	黒中校長	第 2 条第 1 項
板 坂 吉 浩	中中教諭	第 2 条第 1 項			
【平成 1 3 年度被表彰者】			【平成 2 0 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
国 寄 徳 也	無 職	第 2 条第 2 項	南後志法人会黒松内地区会	—	第 2 条第 2 項
山 崎 徹 也	黒中教諭	第 2 条第 1 項	黒松内建設協会	—	第 2 条第 2 項
黒松内中学校	—	第 2 条第 1 項	古 谷 智 佐 子	黒小校長	第 2 条第 1 項
中ノ川小中学校	—	第 2 条第 1 項	日 村 一	白中校長	第 2 条第 1 項
【平成 1 4 年度被表彰者】			【平成 2 0 年度被表彰者】		
氏 名	職	該当条項	氏 名	職	該当条項
加 藤 美 佐 子	黒小校長	第 2 条第 1 項	高 野 秀 樹	黒中教頭	第 2 条第 1 項
新 井 融	白小教頭	第 2 条第 1 項			
芥 藤 裕	無 職	第 2 条第 1 項			

黒松内町教育功労者表彰一覧

NO.2

【平成21年度被表彰者】		
氏名	職	該当条項
檜 伊佐夫	白小校長	第2条第1項
【平成22年度被表彰者】		
氏名	職	該当条項
長谷川 誠	黒中校長	第2条第1項
佐竹 ひろみ	黒中教諭	第2条第1項
織川 富治	無職	第2条第1項
【平成23年度被表彰者】		
氏名	職	該当条項
丸口 弘之	黒中教諭	第2条第1項
黒松内町ライオンズクラブ	—	第2条第2項

第2章 平成24年度事務・事業の点検及び評価

第2章のポイント

「平成24年度教育行政執行方針」に沿った、11項目23の事務・事業について、点検及び評価を行っています。

具体的には、それぞれの取組における事業効果や課題などを客観的に分析したうえで、今後の取組方法等を整理しており、執行方針に関する最終的な評価を行ったものです。

1 「生きる力」を育む学校教育の推進

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		未来を拓く「確かな学力」の向上 全国学力・学習状況調査	項目番号	1-(1)-①
事業費		－ 円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各町村教委、学校等において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、その取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。 ○ 各学校が、各児童・生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善に役立てる。 		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施期日 平成24年4月17日(火) ○ 対象人員 小学6年生 黒小 17人 白小 4人 中学3年生 黒中 35人 白中 3人 ○ 実施区分 全校希望調査 		

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査結果から、児童・生徒個々の基礎学力・応用力、学習状況、また、学校における教育及び教育施策の成果と課題を把握することができた。 ○ 各学校において、調査結果等を分析した上で、指導計画の改善と修正を実施し、児童・生徒に実態に即したきめ細かな指導など、具体的な学習の手立てや指導方法について実践することができた。 				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の実態に即した学校改善プランの修正を適宜実施し、町内全ての小中学校が全国水準の学力に達するよう、スピード感をもって実効性のある具体的な取組を推進していく必要がある。 ○ 児童・生徒個々の学力の差が大きく、家庭での学習時間の短さなどが見られることから、家庭と連携した学習習慣、生活習慣の改善が求められる。 				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が児童・生徒の実態に即し作成した学校改善プランの見直しや修正を実施し、より効果的な学習活動が実践できるよう指導・助言に努める。 ○ 家庭や地域と連携しながら学習習慣や生活規律の確立を図る必要がある。

その他	
-----	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	未来を拓く「確かな学力」の向上 学力向上支援講師派遣事業	項目番号	1-(1)-②
事業費	5,204千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目 的	○ 学習意欲の向上、基礎・基本の定着、確かな学力の向上を図るため、児童・生徒の学力実態が多様な学校に対し、少人数指導等を実施できるよう学力向上支援講師を配置する。	
	実 績	○ 学力向上支援講師の派遣 黒松内小学校 1名 黒松内中学校 1名	

点 検 ・ 評 価	成 果	○ 少人数指導、複数指導により、個に応じたきめ細やかな指導を行うことができ、基礎・基本の定着や学習習慣の確立などが図られた。 ○ 昼休みや放課後に教科相談及び個別学習指導、また、放課後及び長期休業中に希望児童・生徒の補充学習を行うことができた。				
	課 題 (問 題)	○ 支援講師の確実な採用と学校への継続的な派遣に努める必要がある。				
	評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	○ 児童・生徒個々の学力のバラツキが大きいことから、それぞれの学習能力に応じたきめ細やかな指導が必要であり、安定的かつ継続的な支援講師の派遣（人材確保）に努める必要がある。 ○ より効果的な指導を行うために、授業担当教員との緊密な連携が必要である。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	未来を拓く「確かな学力」の向上 特別支援教育支援員派遣事業	項目番号	1-(1)-③
事業費	7,224千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	○ 学習障がいなどにより特別な支援・配慮を必要とする児童・生徒が普通学級に在籍する学校に対し、教育支援などの様々な教育ニーズに対応するため特別支援教育支援員を配置する。	
	実績	○ 特別支援教育支援員の派遣 黒松内小学校 1名 白井川小学校 1名 黒松内中学校 1名	

点検・評価	成果	○ 教育上特別な支援・配慮が必要な児童・生徒が他の児童・生徒と一緒に普通学級で学ぶことができ、さらに、きめ細やかな個別サポート(指導・支援)を行うことにより、充実した学校生活を送ることができた。				
	課題 (問題)	○ 支援員の確実な採用と学校への継続的な派遣が必要である。 ○ 普通学級に在籍する学習障がいなどにより特別な支援・配慮を必要とする児童・生徒が増加傾向にあり、きめ細やかな支援を続けていく必要がある。				
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ きめ細やかな個別サポートを続けていくために、支援員をなるべく交替せずに、安定的かつ継続的に派遣(人材確保)することが望ましい。 ○ 各学校における支援員の配置について、支援を必要とする児童・生徒の状況を的確に把握し、検討する必要がある。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	未来を拓く「確かな学力」の向上 特別支援教育補助員派遣事業	項目番号	1-(1)-④
事業費	877千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	○ 特別支援学級に在籍する児童が普段の学校生活で不自由なく過ごすため、学校生活での手助けや集団活動のサポートを必要とする児童が在学する学校に対し、特別支援教育補助員を配置する。 (認定就学児童の生活支援)	
	実績	○ 特別支援教育補助員の派遣 黒松内小学校 1名	

検 ・ 評 価	成果	○ 学校生活で対象児童の手助けや集団活動のサポートすることにより、児童が安心・リラックスした学習環境が確保され、充実した学校生活を送ることができた。				
	課題 (問題)	○ 個別の指導計画の策定と実践、発達障がい児等の早期発見と支援・相談等に向け、関係機関とも連携した体制による実践的な活動が必要である。 ○ 対象児童の成長に伴い、今後の支援体制等を検討する必要がある。				
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 関係機関(学校、児童クラブ、児童デイ、家庭等)との連携を図り、情報を共有しながら対象児童の支援にあたる必要がある。 ○ 対象児童が平成26年度に中学校へ進学するにあたり、改めて、進学中学校等について、関係者との協議が必要である。			

その他	
-----	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	未来を拓く「確かな学力」の向上 国際交流協力員活動事業	項目番号	1-(1)-⑤
事業費	5,061千円	担当者	社会教育・総務企画
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の発音や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 ○ 国際交流協力員との交流をとおり、国際理解教育や外国の生活文化への理解を深める。 	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民英語教室の開催（延べ1,121人） ○ 各学校における外国語授業でのTT指導等 ○ 保育園への外国語指導 ○ 黒松内中学校での心の相談員 	

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語活動の充実のため、各学校に外国語活動に派遣することにより、生の英語に触れる機会を通じて、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。 ○ 黒松内中学校の心の相談員として、生徒の良き相談相手となり青少年の健全育成が図られた。 				
	課題 (問題)	○ 新学習指導要領に基づく授業の充実を図るため、担当教諭との連携を密にする必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ より充実した外国語学習が展開されるよう、各学校担当教諭との連携を密にする必要がある。 また、国際交流協力員と担当教諭が一堂に会し、研修を深める必要がある。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	未来を拓く「確かな学力」の向上 総合的な学習推進事業	項目番号	1-(1)-⑥
事業費	400千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目 的	○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習をとおして、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。	
	実 績	○ 黒松内小学校：プナ里学習 ○ 白井川小学校：「白井川発・黒松内再発見」 ～黒松内の昔・今・これから～ ○ 黒松内中学校：プナの里のセミナー ○ 白井川中学校：郷土・職業・平和について学び、自分の在り方や生き方について考えよう	

点 検 ・ 評 価	成 果	○ 各学校がそれぞれの特色を活かした、「実践・活動テーマ」に基づき、子どもたちが自ら学び、自ら考える力や問題を解決する資質や能力など、「思考力」「判断力」「表現力」の育成に努めたことにより、児童・生徒の課題解決能力の向上が図られた。				
	課 題 (問 題)	○ 新学習指導要領により、総合的な学習の時間が削減されたことから、各教科学習との関連性を図りながら展開する必要がある。				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	○ 各教科学習との関連性を図るとともに、より体験的・探求的な学習を進めるための指導計画や展開に工夫が必要である。 ○ 各学校がそれぞれ特色を活かした取組を実施しているが、小学校から中学校を通じ、一貫して学ぶことのできるプログラムが望まれる。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	豊かな心と態度、健やかな体の育成 食育振興事業	項目番号	1-(2)-①
事業費	2,500千円	担当者	学校教育
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭における食習慣の乱れが子どもたちの成長阻害要因のひとつとして指摘されおり、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。 ○ 地場産製品・野菜などを学校給食に取り入れ、地産地消を推進するとともに学校給食の充実を図る。 	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食の食材として、トワ・ヴェール製品、トワ・ヴェールⅡのパン、地場産野菜を提供（地産地消） ○ バイキング給食、黒松内の日の実施 ○ 学校栄養教諭による「食」に関する指導・実践 	

点検・評価	効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校栄養教諭による「食」に関する指導・実践を行うことにより、食に対する正しい知識・重要性への理解が深まった。 ○ 安全で安心な地場産野菜、トワ・ヴェール製品、トワ・ヴェールⅡのパンを学校給食に提供することにより、地産地消の推進が図られた。 			
	課題 (問題)	○ 季節ごとの地場産野菜等を学校給食に提供しているものの、児童・生徒と生産者との関わりを持つことができていないなど、情報提供が不足している。			
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い
有効性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産野菜を学校給食に提供する際、「献立表」への記載、「給食だより」を発行するなど、児童・生徒への情報提供に努める。 ○ 学校栄養教諭による、更なる「食」に関する指導・実践を行うとともに、各家庭と連携した食習慣の定着を図る必要がある。 			

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	特色ある学校づくりの推進 小規模学校教育力調査研究事業	項目番号	1-(3)-①
事業費	3,800千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	○ 地域と一体となった教育活動、学校が中心となった地域活動等、小規模校の持つ教育力と地域・自然体験活動の中から生きる力を育もうとする自然学校とが連携し、相互教育力の相乗り効果による子どもたちへの影響・効果・変化などを検証する。	
	実績	○ 黒松内校区から小規模校(白小・白中)へ通学する児童・生徒の送迎(11人 年間207日) ○ 自然体験活動への参加 年間53日(イエティくらぶ、長期自然体験村への参加等) ○ 児童・生徒の送迎用の車両更新(購入費の一部補助)	

点検・評価	成果	○ 個々に合った学習・生活指導等が可能であり課題に対し積極的に取り組み、また、目標や役割が明確となり、子どもたちが責任感をもって行動でき、意欲的に取り組むことができた。 ○ 自然体験活動や地域子ども教室、地域の方々との交流を通じ、多様な価値観に出会う機会となり、また、相手を思いやる心などが養われた。				
	課題 (問題)	○ 送迎中の車内での様子、学校内での様子、自然体験活動での様子を保護者を含めた関係機関職員の間で情報を共有することができれば、より一層の教育力が高まるものと考えられる。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 地域・自然体験活動への参加する機会を増やすとともに、児童・生徒の情報を共有するため、関係機関の更なる連携を図る必要がある。 ○ 児童・生徒の送迎中における交通事故等の危機管理意識の向上を図る必要がある。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	特色ある学校づくりの推進 山村留学事業	項目番号	1-(3)-②
事業費	1,050千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目 的	○ 北限のブナ林をはじめとする豊富な自然の中で、様々な体感・体験を積み上げ、心身共にたくましい人間になることを希望する児童・生徒を受け入れ、その成長・発達を支援するとともに、より多くの児童・生徒による集団生活をとおして、特色ある学校教育活動の充実を図る。	
	実 績	○ 山村留学生受入支援 受入 3名(小学6年生 1名、小学5年生 2名) 里親 ぶなの森自然学校、福本誠一氏	

点 検 ・ 評 価	成 果	○ 小規模校の児童との自然体験や学習、教職員やスタッフとの関わりから、山村留学生に自立心と協調性が芽生え、また、在校生にとっても山村留学児童それぞれが生活体験等をとおした交流をすることで、多様な育成環境が融合し合い、互いに視野が広がるなどの効果をもたらし、学校・地域の活性化が図られた。 ○ 小規模校における児童の確保が図られたとともに、白井川地域の活性化が図られた。				
	課 題 (問 題)	○ 山村留学に関する問い合わせ件数が減少傾向にあることから、関係機関が連携を図りながら情報を発信していく必要がある。				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維 持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽 微 な 改 善 <input type="checkbox"/> 抜 本 的 改 善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	○ パンフレット・ホームページ等を活用した情報発信の充実、また、山村留学受入機関、学校、教育委員会等の更なる連携を図る必要がある。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	特色ある学校づくりの推進 世界文化遺産・西予市交流体験学習事業	項目番号	1-(3)-③
事業費	3,921千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目 的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界文化遺産の見学等では、平和の尊さを学ぶとともに、北海道では体験できない歴史や生活文化に触れる。 ○ 愛媛県西予市では、黒松内とは気候風土や生活文化が異なる地域で生徒同士の交流を行うことにより、郷土への愛着、自らを律しつつ、他人と協調する心などを育む。 	
	実 績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黒松内中学校・白井川中学校合同修学旅行の実施 期 日 5月15日(火)～18日(金)(3泊4日) 人 員 生徒43名(黒中40名、白中3名)、引率11名 場 所 広島県広島市、愛媛県西予市等 	

点 検 ・ 評 価	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習で平和について考え、現地での被爆体験者からの講話や原爆ドームなどの施設見学をとおり、平和の尊さについて再認識するとともに、我が国の歴史や文化に直接触れることができた。 ○ 自主研修及び西予市立中学校(野村中学校)との交流をとおり、責任感と協調性のバランスのとれた豊かな人間関係を養うことができた。 				
	課 題 (問 題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度、初めて西予市を訪問することもあり、移動・交流・体験・散策時間などに課題が残った。 ○ 市立中学校との交流の充実を図る必要がある。 				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動・交流・散策・体験時間などに配慮した旅行行程を検討する必要がある。 ○ 西予市立中学校との交流をより充実させるため、事前交流などを通じた充実を図る必要がある。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	教職員の資質・能力の向上 教職員の資質能力の向上事業	項目番号	1-(4)-①
事業費	809千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の改訂、教育の情報化、生活様式の変化がもたらす問題など、様々な教育課題が山積している現状において、研究・研修事業への参加により、それらの解決や教職員の指導力の向上を図る。 ○ 各学校の教育目標達成に向け精力的・積極的に研修活動を推進し、学校教育に寄与するための能力開発と自己の資質向上を図る。 	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修センター等の各種研修会・研究会への積極的な参加 ○ 学校の研究及び教育活動上の課題解決に資する機会として、教育局指導主事を招いての研究授業等の開催 ○ 教職員スキルアップ研修会の開催（6月11日） 	

点検・評価	成果	○ 各種研修会・研究会などに積極的に参加することにより、その成果や課題の環流を相互に図りながら、個々の資質の向上と学校の研究・研修の充実が図られた。				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の授業力や生徒指導力の資質・能力の更なる向上を図る。 ○ 平成23年度に実施された会計検査院の会計実地検査等において、教職員の不適切な勤務実態が判明したことから、服務規律に係る教職員の意識改革を図るとともに、指導の徹底を図る必要がある。 				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒に質の高い教育を保障するため、各種研修・研究会への積極的な参加を促し、教職員の授業力や生徒指導力の資質・能力の更なる向上を図る必要がある。 ○ 勤務時間・休暇・職務専念義務免除等の服務規律に係る教職員への指導の徹底を図る必要がある。 			

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	安全・安心で豊かな学びが広がる学校づくり 学校施設整備事業	項目番号	1-(5)-①
事業費	4,621千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建築年数の経過とともに腐食及び劣化した学校施設等の修繕を計画的に行い、学校施設・教育環境の向上を図る。 ○ 教員住宅の居住環境の向上を図る。 	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白井川中学校(校舎・屋体)耐震診断実施 ○ 各小中学校施設修繕 白小(網戸・引戸レール取替、屋体電灯取替、暖房機器修繕など) 黒中(屋体外壁等修繕 など) 白中(外灯修理、職員室等床張替、換気扇等取替 など) 	

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耐震診断の結果、屋内体育館の耐震不足が判明し、今後の検討課題が明確となった。 ○ 学校施設等の修繕などを行うことにより、学校施設・学習環境の向上が図られた。 				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白井川中学校屋内体育館が耐震不足と診断されたことから、耐震補強等の改修が必要である。 ○ 教職員住宅の老朽化に伴い、計画的な修繕・整備計画等が必要である。 				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白井川中学校については、生徒数の減少に伴う統廃合等も考えつつ、耐震補強等の改修を検討する必要がある。 ○ 老朽化に伴う学校施設の計画的な修繕、また、黒松内中学校の適切な施設維持のため、メンテナンス等を計画的に実施する必要がある。 ○ 教職員住宅の老朽化に伴い、計画的な修繕・整備計画等が必要である。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	安全・安心で豊かな学びが広がる学校づくり 黒松内小学校エコ改修事業 (平成23年度繰越事業)	項目番号	1-(5)-②
事業費	827,715千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	○ 老朽した施設の大規模改修と耐震補強を行い、学校施設・教育環境の向上を図る。	
	実績	○ 黒松内小学校エコ改修実施 校舎・屋体改修(建築主体、電気設備、機械設備) 仮設校舎借上、実施設計、工事監理委託	

点検・評価	効果	○ 校舎の一部、屋体の耐震不足が解消されるとともに、大規模な改修を行うことにより、施設の安全確保と新しい教育課題やニーズに対応できる学習施設・環境が整備された。				
	課題 (問題)	○ 改修に伴い、環境性能が十分に発揮されるよう適切な施設運用や効果的な設備コントロールに努める必要がある。 ○ 環境施設を活用した環境教育の実践に努める必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 改修された学校施設及び環境性能が十分発揮されるよう適切な施設運用や効果的な設備コントロールに努める。 また、環境施設を活用した環境教育の充実に努める。			

その他	○ グラウンドを含む外構改修工事については、平成24年度からの繰越事業として実施することから、平成25年度事業として、点検及び評価を行うこととする。
-----	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		安全・安心で豊かな学びが広がる学校づくり 学校給食センター施設等整備事業	項目番号	1-(5)-③
事業費		4,704千円	担当者	学校教育
事務事業の概要	目的	○ 建築年数の経過とともに腐食及び劣化した給食センター施設の修繕及び設備を改修・更新等を行うことにより、安全・安心な学校給食の提供に努める。		
	実績	○ ボイラー取替 ○ 施設小破修繕 (配管修理、重油タンク修理 など) ○ 備品購入 (高圧洗浄機、保温食缶、食品用温度計 など)		

点検・評価	効果	○ ボイラー取替、施設の小破修繕、備品を購入したことにより、施設及び衛生面等での適切な管理が行われ、安全・安心な学校給食を児童生徒へ提供することができた。				
	課題 (問題)	○ 学校給食センターは、建築から約30年が経過していることから、全体的に老朽化が進んでおり、改築等を検討する必要がある。 ○ 厨房内の温度が30℃を超え、保健所からの指導もあることから、対策が必要である。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 老朽化している施設の改修や調理機器等の更新を計画的に実施するとともに、建替え等を視野に入れた年次スケジュールの具体的検討が必要である。			

その他	
-----	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	信頼される学校づくり 学校関係者評価事業等	項目番号	1-(6)-①
事業費	50千円	担当者	総務・企画
事務事業の概要	目的	○ 各学校の自己評価及び学校関係者による評価を実施し、公表することにより適切な説明責任を果たし、保護者・地域との連携協力による学校運営の改善と充実を図る。	
	実績	○ 児童・生徒及び保護者へのアンケート調査等による自己評価 ○ 学校関係者評価委員により外部評価 黒松内校区6名、白井川校区4名	

点検・評価	成果	○ 各学校の自己評価及び学校関係者評価を実施し、公表したことにより説明責任を果たし、より信頼される学校づくりを進めることができた。				
	課題 (問題)	○ 保護者アンケート調査の回収率の向上を図る必要がある。 (黒小 81.3%、黒中 79.8%) ○ 学校関係者評価委員会の適切な運営を行う必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 学校関係者評価委員会の適切な運営を促すとともに、学校だよりの校下全戸配布や学社融合事業、学校支援地域本部事業の実施など、開かれた学校づくりと充実した教育活動への支援を継続して行う必要がある。 ○ 保護者アンケート調査の回収率の向上のため、保護者への理解を求める必要がある。

その他	
-----	--

2 豊かで活力ある地域づくりを目指す生涯学習と社会教育の推進

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		活力ある地域づくりの推進 地域コミュニティー振興事業 (地域づくり、人づくりの推進等)		項目番号	2-(1)-①	
事業費		7,657千円	担当	社会教育		
事務事業の概要	目的	○ 生涯学習を通じた心豊かなコミュニティーの振興を図るため、地域ごとの課題の解決に関わり、住民が主体的に考え、協働して解決していくための「仕組みづくり」を進め、地域の教育力を高めるとともに、共に学びあえる地域づくりを推進する。				
	実績	○ 黒松内町生涯学習センター本部事業 〔生涯学習センター事業、課題解決セミナー事業 黒松内音頭普及事業、教育講演会事業・地域づくり研修会等〕 ○ 黒松内町地域づくり振興協議会事業 ○ 地域づくり支援員の配置(白井川、大成・豊幌、中ノ川地区) ○ 地域づくり支援員活動業務委託事業				
点検・評価	成果	○ 地域づくり振興会の設置及び地域づくり支援員を配置したことにより、各地域が課題解決のために、地域住民自ら地域の活性化を目指す独自活動が展開され、地域住民の親睦を深め、心豊かで潤いと活力ある地域づくりが推進された。 ○ 住民主体による地域づくりに関する住民間の意識の共有化が進み、大成・豊幌地区では野菜などを中心とした直売所「みんなの店」がオープン、中ノ川地区でも地域おこしプランが進められるなど、地域が一体となった活動が展開された。				
	課題 (問題)	○ 社会教育関係団体育成の視点から各団体・地域のリーダーの育成が急務であるとともに、学習ニーズを探り、現状を分析しながら、地域課題解決型の新たな学習プログラムづくりが必要である。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
今後の方向性	事業規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止				
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止				
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 各地区におけるリーダーの育成が急務である。 ○ 各地域が単独で事業を実施するだけでなく、それぞれの地域が連携を図りながら学習できる機会を提供し、その成果が、地域づくりに役立てることができるように努める必要がある。				
その他						

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	家庭や地域の教育力向上と支援 家庭教育への支援事業 (親子体験事業・子育てサークルへの支援)	項目番号	2-(2)-①
事業費	619千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目的	○ 家庭教育は、すべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣の定着や豊かな心の育成は、家庭の教育力によるところが大きいことから、家庭教育に関する学習会や子育てに関する情報提供を図る。	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育セミナー 3回実施 (子育て講座(命の大切さ)、就学前児童保護者教室、親子でのあそび) ○ 親子体験事業 5回実施 (田植え、稲刈り、ホテルを見に行こう、モクズガニを知ろう、もちつき) ○ 子育てサークル「ぶなっ子クラブ」活動支援 ○ 親子音楽鑑賞会(パフファミリーコンサート) 	

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関と連携を図りながら様々な学習機会や情報の提供を行うとともに、子育て支援サークルを中心としたネットワークづくりを進めたことにより、子育ての不安や悩みの解消され、また、家庭の教育力の向上が図られた。 ○ 親子での体験活動を取り入れ実施した結果ことにより、まだ少数人数ではあるが、初めて参加する人や父親の参加を得ることができた。 			
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化や核家族化、ライフスタイルの変化などが家庭の変容、子育ての在り方そのものに影響を与えており、関係機関との連携を強化し、更なる、学習機会や情報を提供する必要がある。 ○ 子育て世代が参加しやすいよう、学習の内容・開催日・時間等の設定について検討する必要がある。 			
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育の重要性を認識、参加者の固定化などの解消を図るため、一方的な講話ばかりではなく、体験活動等を取り入れながら参加者が参画できるような事業内容を検討する必要がある。 ○ 地域ぐるみで子育てをする親を支援するなど、地域における子育て支援体制の充実を図る必要がある。 			

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	家庭や地域の教育力向上と支援 地域教育力の活性化事業 (異年齢、異世代間交流等)	項目番号	2-(2)-②
事業費	112千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目的	○ 少子化や核家族化が広がり、人間関係や地域連帯感の希薄さから家庭や地域における教育力の低下が問題となっていることから、学校・家庭・地域の連携を深め、地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進を図る。	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツフェスティバル運営委員会事業の実施 (わくわく楽しい運動会) ○ 黒松内町元気キッズクラブ運営委員会事業の実施 (わんぱく探検団：もちつき事業等) ○ 黒松内町生涯学習センター本部事業 (地域教育講演会) 	

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの関係機関が抱えている課題を共有することができ、家庭や地域における教育力低下の課題を解決するための方策を探るなど、地域で子どもを育てる、支援する体制が確立されつつある。 ○ スポーツ活動、文化活動、学校支援活動など多くの町民が参画する機会を提供することができた。 				
	課題 (問題)	○ 各関係団体等と連携を図りながら各種のふれあい事業等を実施しているが、参加者が固定化してきており、交流の内容に工夫を加えるなどの対策を講ずる必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域の連携を一層深め、地域全体で子どもを育てる環境づくりを地域の学習施設や自然資源等を活用しながら実施する必要がある。 ○ 各種のふれあい事業等において、多くの町民が参加しやすいプログラムづくりなど、対策を講ずる必要がある。

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	家庭や地域の教育力向上と支援 青少年教育の充実事業 (元気キッズ、放課後子ども教室、通学合宿、ぶなの木学舎等)	項目番号	2-(2)-③			
事業費	4,306千円	担当	社会教育			
事務事業の概要	目 的	○ 子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域などが一体となって、地域の教育資源を積極的に活用した豊かな体験活動の充実を図る。				
	実 績	○ 黒松内町元気キッズクラブ運営委員会事業 (学舎融合事業、わんぱく探検団事業、夏・冬休み元気スクール事業) ○ 放課後子ども教室(黒松内、白井川地区) ○ 学校支援地域本部事業 ○ 通学合宿事業(4泊5日×1回 4名) ○ ぶなの木学舎事業(7月30日～8月3日) ○ 西予市子ども受け入れ事業(2月14日～16日 5名)				
点 検 ・ 評 価	成 果	○ 地域の学習施設や体育施設、自然資源を積極的に活用した自然・生活・社会体験活動などの機会を提供したことにより、子どもたちの「生きる力」が育まれた。 ○ 学校・家庭・地域などの連携により、地域社会が一体となった子どもの健全育成が行われた。				
	課 題 (問 題)	○ 豊かな体験学習を促進するための指導者・スタッフが重要な役割を担うことから、指導者等の確保と養成が必要である。 ○ 子どもたちの体験活動をより一層充実するため、地域教育資源の活用、各関係期間との連携を強化する必要がある。				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	
今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止				
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維 持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止				
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	○ 豊かな体験活動等のプログラム開発のために、ブナセンター学芸員、マナヴェール司書、ぶなの森自然学校との連携、情報の共有を図り、研修会等を実施する必要がある。 ○ 子どもたちが参加しやすい日程調整等の検討が必要である。				
そ の 他						

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	読書活動の推進 ふれあいの森情報館活動事業	項目番号	2-(3)-①
事業費	12,860千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふれあいの森情報館は、基本的な図書館機能に留まらず、地域文化の向上を図る事業展開を行うとともに、地域住民の交流の場としての役割を併せ持つ施設であることから、一般図書資料はもとより、広範多岐にわたる学習ニーズに対応しながら町民の生活課題に関する学習や地域活動の支援を行う。 ○ 子どもの読書環境を豊かにするために、情報館が中心となり、学校・家庭との連携を図る。 	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書活動の推進事業（情報館友の会との協働による運営） <ul style="list-style-type: none"> 情報誌の発行、読書まつり、読書ひろば、読書普及講演会、親子読書活動の実施 リクエストの受付、図書資料の購入、学校図書共同購入、広瀬子ども文庫基金の活用 夜間開放、レファレンス対応、HPの更新、学校への出前読み聞かせ など 入館者数 10,980 人、貸出冊数 21,093 冊、視聴覚資料貸出 1,585 本 インターネット利用件数 1,248 件、登録者数 2,589 名、蔵書数 28,031 冊 ○ 情報館友の会の活動支援（研修会への参加） ○ 地域ステーションの設置（白井川地区） 	

点検・評価	効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報館友の会との協働により施設運営・事業展開をしていることから、きめ細かな住民サービスや親子・児童向けの読書活動に工夫を凝らしながら、生活の中に読書を取り入れることができた。 ○ 地域ステーションを設置したことにより、市街地以外の町民へも読書環境を整えることができた。 			
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの読書環境を豊かにするために、学校・保育所との連携を図りながら、団体貸出しや出前読み聞かせ等を積極的に実施しているが、関係機関（保健福祉課・福祉施設等）とのより緊密な連携が必要である。 ○ 一般町民など利用者が固定化しつつあることから、仕事や生活・地域の課題解決に向けた図書資料の収集が必要であり、関係機関・団体等との連携を図るとともに、図書利用振興計画の策定が急務である。 			
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの読書環境を整備するとともに、読書機会の充実や読書の習慣化を図るため、関係機関との連携強化、より一層の情報館機能の充実に努める。 ○ 行政関係・福祉関係機関等との連携を強化しながら幼児期の家庭教育支援の一躍を担う情報の発信、町民の生活課題・地域課題、町の政策に対応できる図書資料を配備する必要がある。 			

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	地域文化の保存・活用 文化・芸術活動の推進事業 (文化芸術活動への参加機会の拡充)	項目番号	2-(4)-①
事業費	1,316千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目的	○ 生涯を通じて、心のゆとりや潤いにつながる文化に親しむことができる環境づくりを進めるため、地域に根ざした自主・自発的な文化活動を促進する発表の場や機会の提供、芸術鑑賞等の文化に触れる機会の充実を図る。	
	実績	○ 黒松内町文化団体連絡協議会事業 (総合文化祭事、文化講座) ○ 黒松内町元気キッズクラブ運営委員会事業 (児童小劇場、音楽鑑賞会)	

点検・評価	成果	○ 文化団体連絡協議会の各加盟団体は、各団体において活動の発表の場を積極的につくり、会員相互の親睦及び町外の人たちとも交流するなど、自らを高めることともに、広く町民への参加を促すなどの活動を展開しており、心のゆとりや潤いに繋がる文化に親しむことこの環境が整備された。				
	課題 (問題)	○ 文化団体連絡協議会においては、新たな団体が生まれる傍ら、会員及び指導者の高齢化、後継者不足などから会を存続できず、解散または活動を停止するといった現象も起きており、指導者の養成、リーダーの発掘、新しい文化の創造を図ることが必要である。				
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 文化団体会員及び指導者の高齢化、後継者不足などの問題もあり、指導者の養成、リーダーの発掘、新しい文化の創造を図ることが必要である。 ○ 文化団体連絡協議会などが開催する文化事業や文化活動を支援するとともに、近隣町村との芸術鑑賞情報の提供や文化団体・施設などのネットワークづくりなど、広域的な文化事業の取組みを進めていく必要がある。			

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	地域文化の保存・活用 文化財の保存、活用事業 (町指定保存木、郷土資料・生活民具等)	項目番号	2-(4)-②
事業費	1,838千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目 的	○ 国の天然記念物である「ブナ自生北限歌才ブナ林」は勿論のこと、本町の貴重な文化財でもある「町指定保存木」を保存・活用してきたが、今後は、郷土資料や生活民具についても調査・整理するなど、活動幅を広げていくことで、本町の多様な自然・歴史・文化等に関する町民の理解を深める。	
	実 績	○ 「町指定保存木」案内看板設置(4箇所) ○ 郷土資料・生活民具等収集方法勉強会(1回)	

点 検 ・ 評 価	成 果	○ 町指定保存木の案内看板を設置したことにより、より多くの町民に保存木の由来等を周知することができた。				
	課 題 (問 題)	○ 定期的に樹木の現況を把握し、適切な対策を講ずるなど、保存木の管理に努める必要がある。 ○ 町の郷土資料の調査・整理をするための有識者による、組織づくりが急務となっている。				
	評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 維 持	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維 持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	○ 町指定保存木を管理するにあたり、樹木の現況を把握し適切な対策を講ずる必要がある。 ○ 郷土に根ざした生活文化などを後世に確実に伝えていくため、文化等に関する講座の開催など、生活文化の保存と継承に努めるとともに、町内各所に埋もれている生活文化を発掘し、郷土の歴史や文化的遺産に触れる機会の拡充に努める必要がある。			

そ の 他	
-------	--

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		生涯スポーツの振興と健康づくり 生涯スポーツの推進事業 (生涯スポーツ、森林療法等)		項目番号	2-(5)-①
事業費		7,355千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	○ 健康とスポーツの町の趣旨にのっとり、町民の誰もが体力や年齢などに応じてスポーツに親しみ、健康増進と体力の向上を図るとともに、青少年の健全育成、地域コミュニティの振興を推進するため、町民が継続して様々なスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツの推進を図る。			
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツフェスティバル運営委員会事業 町民ミニバレーボール大会、雪中レクリエーション、各種スポーツ教室 みんなでクロスカントリーを楽しもう、子どもスポーツフェスタ 21 ノルディックウォーキング教室、ダンス教室 など ○ 体育協会事業、スポーツ少年団への補助 加盟団体への活動補助、町内一周駅伝大会、近隣町村柔道大会、町民大会等 全国・全道大会参加経費補助、近隣町村野球大会 など ○ 各種スポーツイベント 全道シニア&レディースパークゴルフ大会、日本ハムキッズサマーキャンプ 秋季北海道女子軟式野球大会、東日本軟式野球全国大会 ○ スポーツコーディネーターの配置 (町民の健康相談窓口の充実、健康教室や運動指導) ○ 森林療法の取り組み (ハーブとアロマの活用講座の開催 など) 			

点検・評価	成果	○ スポーツ事業の実施にあたっては、スポーツ推進委員・体育協会・スポーツ少年団・各実行委員会等と連携を図り、広く町民の意見を取り入れ、参加しやすい環境づくりを図りながら事業を実施したことにより、多様なスポーツ活動等を通じて、青少年の健全育成、町民の健康保持や体力増進などに加えて、地域のコミュニティの醸成を図ることができた。				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民が気軽にスポーツに親しみることができるよう関係団体等と連携を図りながら各種事業を展開しているが、参加者が固定化してきており、各年代層のニーズにあったスポーツ活動を取り入れる必要があるとともに、地域コミュニケーションが図られる事業を考える必要がある。 ○ 経年による老朽化が進み、加えて、耐震不足が判明している町民体育館における改修・改築等の検討が必要である。 				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ教室等の指導者を養成・指導力の向上を図り、スポーツ教室を通じて底辺の拡大に努める必要性がある。 ○ 活動が停滞している団体も見受けられるので、活動実態を把握し、育成・支援に努めるとともに、「総合型地域スポーツクラブ」設立のための調査・研究をする必要がある。 ○ 町民体育館の改築とうについて、「検討委員会」を設置し、検討する。 			

その他	
-----	--

3 全体評価

黒松内町教育委員会では、各関係機関・団体との連携を図り、協働で進める開かれた教育行政を推進することが、子供たちに「生きる力」を、地域に「自立」と「共生」の力を育む上で最も大切なことと考え、また、「みんなで支える学校、みんなで育てる子ども」を合い言葉に、豊かな教育環境と町民のニーズに応える生涯学習の充実を図るため、各種事業等を実施してまいりました。

平成24年度教育行政執行方針に掲げた教育委員会が主管する主な事務・事業について、教育に関する事務の点検及び評価に関する実施方針（平成21年4月23日教育委員会決定）に基づき、点検及び評価を実施しましたのでその全体評価について報告いたします。

(1) 「生きる力」を育む学校教育の推進

社会情勢が急激に変化する中で、未来を担う子供たちが夢と希望を持ち、主体的に未来を切り開くことができる能力として、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和のとれた『生きる力』を育むため、各種事業等を実施してきました。

① 未来を拓く「確かな学力」の向上

基礎的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学習に取り組むなどの「確かな学力」の定着と向上を図るため、学習指導の充実、教育環境・体制づくりに努めてきました。

「確かな学力」の定着と向上を図るため、全国学力・学習状況調査結果などを分析し、児童・生徒個々の能力を把握、各学校における課題や問題点を明らかにすることにより、学校改善プランによる授業改善や家庭と連携した学習習慣、生活習慣の改善に向けた取り組みが必要です。

② 豊かな心と態度、健やかな体の育成

偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化していることから、子どもたちに「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、栄養教諭等を活用しながら指導に努めてきました。

今後も、栄養教諭等との連携や年間指導計画による適切な指導を行うとともに、家庭と連携した食習慣の定着を努める必要があります。

また、食育の生きた教材となる学校給食の提供、さらに、食を通じて地域等を理解することや食文化の継承を図ることが必要です。

③ 特色ある学校づくりの推進

児童・生徒一人ひとりとの触れ合いと個性を大切にしながら進められる小規模校の教育力、また、北限のブナ林をはじめとする豊かな自然環境の中での山村留学などは、心身の健やかな成長と確かな学力、豊かな心を育む学校環境として評価されており、地域の特性（小規模校、自然など）を生かした特色ある教育活動を積極的に進めてきました。

今後、多様な学習ニーズに応じた学校選択の道を堅持していく必要があります。

また、学社融合による修学旅行「世界文化遺産・交流体験学習」は、今年度、長野県小川村からの愛媛県西予市へと変更となったことから、西予市立中学校との交流を充実させるため、事前交流などを検討する必要があります。

④ 教職員の資質・能力の向上

教職員の授業力や生徒指導力などの資質・能力の向上を図り、子どもたちに質の高い教育を保障するため、各種研修会・研究会等への参加を促し、職務に対する自覚や意欲、学校運営への参画意識を高めてきました。

教職員の更なる資質・能力の向上、併せて、地域の教育資源や人材の有効活用を図り、その成果が児童・生徒に還元され、学校運営との連携へと導く必要があります。

また、平成23年度の実施された会計検査院による会計実地検査等により、教職員の不適切な勤務実態が判明したことから、勤務時間・休暇・職務専念義務免除等の服務規律に係る教職員の意識改革、併せて、指導の徹底を図る必要があります。

⑤ 安全・安心で豊かな学びが広がる学校づくり

児童・生徒が安全・安心な環境で学ぶことができるよう、黒松内小学校校舎・屋体のエコ改修事業の実施、また、各学校施設（設備）の緊急を要する箇所の修繕を行うなど、教育環境の充実・整備に努めてきました。

黒松内小学校のグラウンドを含む外構改修事業は、平成24年度の繰越事業として平成25年度に着手されることから、適切な事業の実施が求められます。

白井川中学校については、耐震診断の結果、屋体が耐震不足と診断されたことから耐震補強等の改修などを検討する必要があります。

また、老朽化に伴う学校施設・学校給食センター・教員住宅の修繕・整備計画など、年次スケジュールの具体的な検討が必要です。

⑥ 信頼される学校づくり

保護者・地域の連携協力による学校運営及び改善と充実を図り、信頼される学校づくりを進めるため、各学校における自己評価及び学校関係者による評価を実施し、公表することにより説明責任を果たしてきました。

今後、学校関係者評価委員会の適切な運営を促すとともに、開かれた学校づくりと充実した教育活動への支援を継続して行う必要があります。

(2) 豊かで活力ある地域づくりを目指す生涯学習の推進

少子・高齢化に伴う諸課題が顕在化し、地域社会や保護者のニーズもますます複雑・多様化する中、学びの力で青少年の健全育成や地域コミュニティの醸成に努めるとともに、家庭・地域の教育力の向上、地域全体で子どもを守る体制づくり、地域の特性を生かした生涯学習の充実のため、各種事業を実施してきました。

① 活力ある地域づくりの推進

地域ごとの課題解決に積極的に関わり、住民が主体的に考え、協働により解決していくための「仕組みづくり」を進めるため、「地域づくり支援員」を配置し、「地域づくり振興会」等を設置するなど支援体制の整備に努めてきました。

住民主体による地域づくりに関する住民意識の共有化が進み、大成・豊幌地区における野菜を中心とした直売所「みんなの店」がオープンするなど、地域が一体となった活動が展開されたことは高く評価されます。

しかし、各団体・地域等のリーダーが不足していることや高齢化等に伴う地域課題が浮き彫りとなり、その解決に地域住民自らが参画し推進する地域課題解決型の新たな学習プログラムづくりに取り組む必要があります。

また、地域活性化への意識化を更に進め、「地域づくり事業」の構築と実践を広げるとともに、地域連帯感と支え合いの意識を醸成する必要があります。

② 家庭や地域の教育力向上と支援

少子化・核家族化などの進行に伴い、人間関係や地域連帯感の希薄化が進んでいる中で、全ての教育の出発点である家庭や地域社会の教育力の向上を図るため、家庭・PTA等と連携し、学習習慣を含む生活習慣の確立に努めてきました。

しかし、各関係機関ごとの情報共有や連携に一部課題も見られたことから、連携を一層強化するとともに、地域全体で子供を守り育てる環境づくりを地域の教育資源（人・自然・施設）等を積極的に活用しながら取り組み、家庭や地域社会の教育力の向上に努める必要があります。

③ 読書活動の推進

読書は、子どもの成長にとって豊かな情操や思考力・創造力などを養うために欠かせないものであり、豊富で良質な読書の機会を提供するため、「ふれあいの森情報館」を中心として読書活動、また、地域を支える学習支援や情報発信の拠点としての機能充実に努めてきました。

「ふれあいの森情報館」は、「情報館友の会」との協働により運営することで、常に住民目線での読書活動に心がけ、身近な存在としてその地位を確立していますが、利用者数がやや減少していることに加え、利用者の固定化が大きな課題として浮上しています。

こうした課題等に的確に対応していくことや、町民からの情報館への新たな期待等に応えるため、図書利用振興計画の策定などの課題解決に向けた取り組みが必要となっています。

④ 地域文化の保存・活用

生涯を通じて、文化に親しみ、心のゆとりや潤いにつながる環境づくりを進め、町民が文化活動や芸術鑑賞等の文化に触れる機会を提供するため、各種文化事業を展開してきました。

しかし、各文化団体会員の高齢化などから依然として指導者の養成やリーダーの発掘などに課題が見られました。

町民が文化・芸術に親しむ機会を積極的に提供するとともに、今後、指導者の養成やリーダーの発掘、また、郷土の歴史や文化、失われつつある生活民具などの収集・保存・活用への取り組みが必要となっています。

⑤ 生涯スポーツの振興と健康づくり

スポーツは、あらゆる活動の源である健康な体力づくりであると同時に、青少年の健全育成や地域コミュニティの振興に大きな役割を果たしており、子供から高齢者までが様々なスポーツに親しみ、楽しむことができるよう関係団体と連携しながら各種事業の実施に努めてきました。

参加者が固定化しつつあるという課題はあるものの、青少年の健全育成や町民の健康保持や体力増進などに加え、地域コミュニティの醸成が図られるなど一定の成果が見られました。

町民が参加しやすい環境づくりや自然を活用するなど新たな視点からの事業展開、総合型地域スポーツクラブ設立に向けた調査・研修、また、町民体育館をはじめとするスポーツ施設の老朽化が進んでいることから、計画的な整備が必要となっています。

(3) まとめ

平成24年度黒松内町教育委員会が実施した主な事務・事業を全般的に見ると、教育行政に関係する皆様・団体等のご協力もあり、点検の結果、殆どの事業が計画どおりに進めることができ、事業効果としても一定の成果が得られたものと評価しています。

しかし、いずれの事務・事業においても、大なり小なりの課題も見受けられることから、この事務・事業の点検及び評価をとおして、常に事業効果や改善点などを明らかにし、今後の政策展開に繋げてまいりたいと考えています。

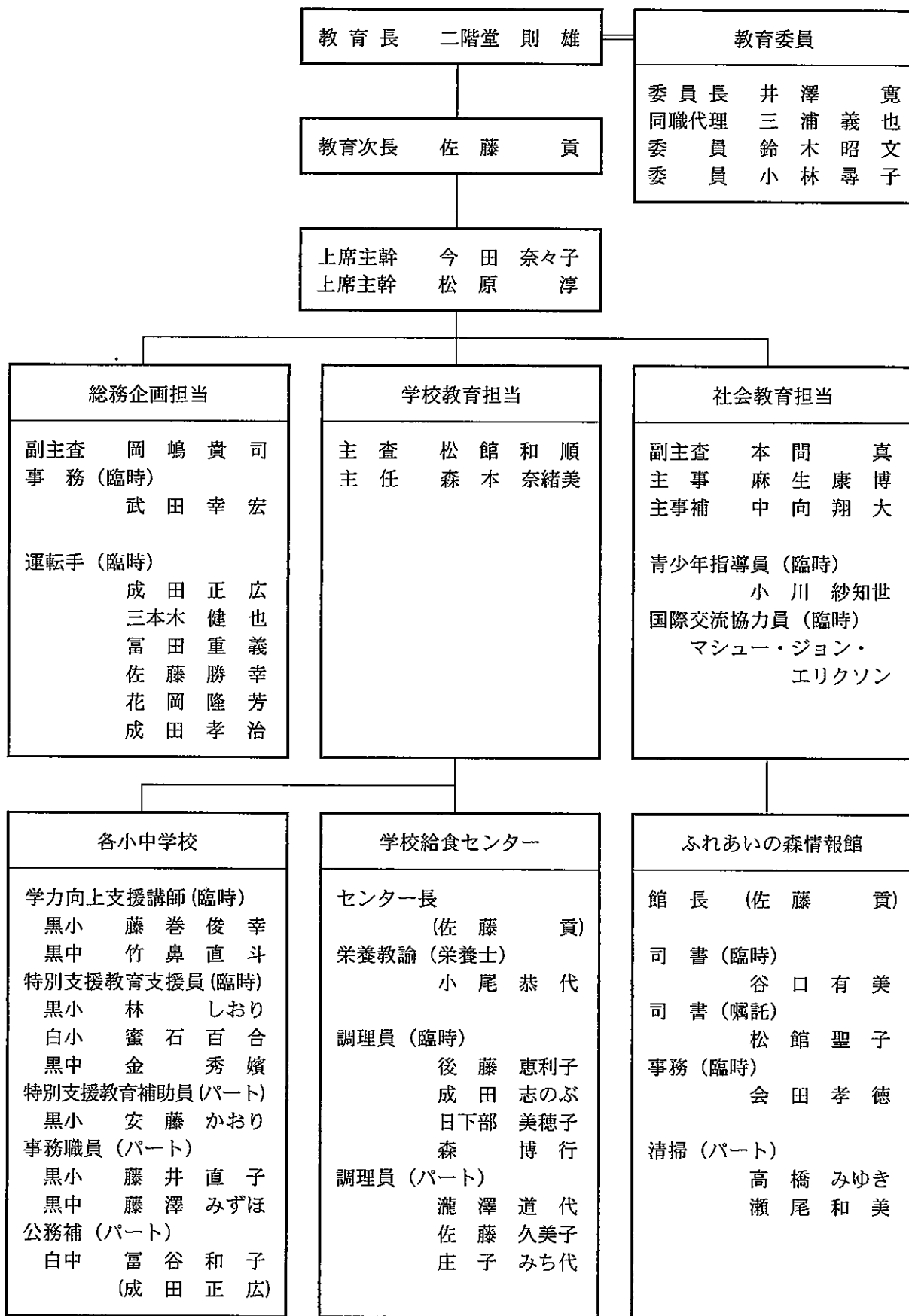
以上、平成24年度教育行政執行方針に沿って、事務・事業の総括責任者としての全体評価といたします。

平成25年9月

黒松内町教育委員会
教育長 内山 哲 男

参 考 资 料

1 教育委員会組織機構図 (平成24年4月1日現在)



2 教育関係予算の状況（当初予算）

平成24年度における教育予算の総額は205,609千円であり、町の一般会計全体に占める割合は5.7%で、前年度比3,268千円の減額となっている。

予 算 科 目		23年度予算	24年度予算	比 較	備 考
1 教育総務費	教育委員会費	1,329	1,329	0	
	事務局費	28,456	27,484	△ 972	
	スクールバス管理費	11,279	10,040	△ 1,239	
	小 計	41,064	38,853	△ 2,211	
2 小学校費	学校管理費	25,704	25,843	139	
	教育振興費	9,509	3,805	△ 5,704	
	環境教育推進費	277	248	△ 29	
	小 計	35,490	29,896	△ 5,594	
3 中学校費	学校管理費	24,532	26,569	2,037	
	教育振興費	10,273	11,982	1,709	
	環境教育推進費	292	465	173	
	小 計	35,097	39,016	3,919	
4 社会教育費	社会教育総務費	10,477	9,589	△ 888	
	総合町民センター費	9,175	9,371	196	
	情報館管理費	14,631	14,388	△ 243	
	生涯学習館管理費	4,971	4,489	△ 482	
	文化財保護費	2,959	2,157	△ 802	
	子育て支援費	2,383	2,417	34	
	放課後子ども活動費	2,830	2,830	0	
	地域づくり活動費	5,537	6,929	1,392	
	小 計	52,963	52,170	△ 793	
5 保健体育費	保健体育総務費	9,789	9,852	63	
	体育施設費	10,186	14,052	3,866	
	学校給食費	24,288	21,770	△ 2,518	
	小 計	44,263	45,674	1,411	
総 合 計		208,877	205,609	△ 3,268	

3 学校の児童生徒・教職員数

(1) 児童生徒数（4月1日現在）

学 校 名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
黒松内小学校	H 22	25	17	17	14	23	28	124
	H 23	29	27	18	18	16	25	133
	H 24	21	29	29	18	20	17	134
白井川小学校	H 22	1	1	0	1	2	3	8
	H 23	2	1	1	0	3	4	11
	H 24	3	2	1	1	2	4	13
小学校 計	H 22	26	18	17	15	25	31	132
	H 23	31	28	19	18	19	29	144
	H 24	24	31	30	19	22	21	147
黒松内中学校	H 22	35	26	26				87
	H 23	31	40	26				97
	H 24	21	32	41				94
白井川中学校	H 22	4	1	2				7
	H 23	3	4	2				9
	H 24	5	3	3				11
中学校 計	H 22	39	27	28				94
	H 23	34	44	28				106
	H 24	26	35	44				105
総 合 計	H 22							226
	H 23							250
	H 24							252

(2) 教職員数（4月1日現在）

※（）内は産休又は育休の職員数、外数

学 校 名		教職員	養 護	事 務	栄 養	期限付	町職員	計
黒松内小学校	H 22	12	1	1	1	—	3	18
	H 23	12	1	1	1	—	2	17
	H 24	12	1	1	1	1	3	19
白井川小学校	H 22	4	—	—	—	—	—	4
	H 23	4	—	—	—	1	1	6
	H 24	4(1)	—	—	—	3	1	8(1)
小学校 計	H 22	16	1	1	1	—	3	22
	H 23	16	1	1	1	1	3	23
	H 24	16(1)	1	1	1	4	4	27(1)
黒松内中学校	H 22	13	(1)	1	—	1	2	17(1)
	H 23	12	1	1	—	—	1	15
	H 24	12	1	1	—	—	2	16
白井川中学校	H 22	5	—	—	—	1	—	6
	H 23	6	—	—	—	—	—	6
	H 24	5(1)	—	—	—	1	—	6(1)
中学校 計	H 22	18	(1)	1	—	2	2	23(1)
	H 23	18	1	1	—	—	1	21
	H 24	17(1)	1	1	—	1	2	22(1)
総 合 計	H 22	34	1(1)	2	1	2	5	45(1)
	H 23	34	2	2	1	1	4	44
	H 24	33(2)	2	2	1	5	6	49(2)

4 各施設利用者数

(1) 総合町民センター

区 分	大ホール		配膳室		控 室		青年研修室		婦人研修室	
	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者
H22年度	204	3,963	12	310	114	1,611	180	1,770	182	1,735
H23年度	191	5,703	13	139	87	1,429	128	1,770	180	2,267
H24年度	185	6,507	15	210	102	1,546	146	1,361	164	1,483

区 分	生涯研修室		老人研修室		調理実習室		合 計	
	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者		
H22年度	66	347	296	5,684	43	527	1,097	15,947
H23年度	61	446	282	5,887	34	639	976	18,280
H24年度	175	1,618	276	7,436	47	719	1,110	20,880

(2) ふれあいの森情報館

区 分	開館日数	入館者数	蔵書数	貸出冊数		登録者数		
				総 数	1日平均	町 内	町 外	合 計
H22年度	290	14,733	24,326	22,654	78.1	1,788	496	2,284
H23年度	289	13,526	26,375	22,948	79.4	1,908	553	2,461
H24年度	293	10,980	28,031	21,093	72.0	2,002	587	2,589

(3) ミニビジターセンター

区 分		町 内		町 外		町内 団 体	町外 団 体	その他	合 計
		大 人	小 人	大 人	小 人				
H22年度	宿泊研修	—	—	160	2	43	224	—	429
	日帰研修	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	160	2	43	224	—	429
H23年度	宿泊研修	20	2	79	4	10	240	—	355
	日帰研修	—	—	6	—	—	—	—	6
	計	20	2	85	4	10	240	—	361
H24年度	宿泊研修	10	10	87	—	25	229	—	361
	日帰研修	3	—	2	—	—	—	—	5
	計	13	10	89	—	25	229	—	366

(4) 各運動施設

区 分		利 用 者 数		合 計	備 考
		町 内	町 外		
野 球 場	H 22 年度	2,429	2,199	4,628	
	H 23 年度	2,260	3,754	6,014	
	H 24 年度	1,523	4,035	5,558	
多 目 的 広 場	H 22 年度	615	1,120	1,735	
	H 23 年度	796	900	1,696	
	H 24 年度	3,450	1,029	4,479	
テニスコート	H 22 年度	88	59	147	
	H 23 年度	36	110	146	
	H 24 年度	44	60	104	
町 民 プ ー ル	H 22 年度	3,860	365	4,225	
	H 23 年度	3,402	212	3,614	
	H 24 年度	3,540	173	3,713	
パークゴルフ場 (歌才)	H 22 年度	1,345	1,498	2,843	
	H 23 年度	1,270	2,037	3,307	
	H 24 年度	1,333	1,313	2,646	
パークゴルフ場 (道の駅)	H 22 年度	640	1,015	1,655	
	H 23 年度	1,058	1,932	2,990	
	H 24 年度	915	1,195	2,110	
東山スキー場	H 22 年度	-	-	1,334	
	H 23 年度	-	-	1,173	
	H 24 年度	-	-	1,046	
町 民 体 育 館	H 22 年度	-	-	9,852	
	H 23 年度	-	-	14,506	
	H 24 年度	-	-	13,370	

